



2026年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年2月5日

上場会社名 株式会社カナミックネットワーク 上場取引所 東
コード番号 3939 URL <https://www.kanamicnetwork.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 拓真
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部部長 (氏名) 棚田 正人 (TEL) 03-5798-3955 (代表)
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第1四半期の連結業績（2025年10月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第1四半期	1,478	12.9	566	23.3	460	25.9	462	26.0	305	29.5
2025年9月期第1四半期	1,309	9.8	459	16.5	365	18.7	367	19.1	235	13.4

(注) 包括利益 2026年9月期第1四半期 342百万円 (43.7%) 2025年9月期第1四半期 238百万円 (13.7%)

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋のれん償却額

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第1四半期	6.44	—
2025年9月期第1四半期	4.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第1四半期	6,260	4,635	74.0
2025年9月期	6,542	4,649	71.1

(参考) 自己資本 2026年9月期第1四半期 4,635百万円 2025年9月期 4,649百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	7.50	7.50
2026年9月期	—				
2026年9月期（予想）		0.00	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,150	18.3	1,120	16.1	900	17.6	900	17.7	600	15.7	12.64
通期	6,350	15.4	2,500	23.5	2,050	27.5	2,050	27.1	1,370	23.2	28.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※EBITDA＝営業利益＋減価償却費（有形・無形固定資産）＋のれん償却額

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規：－社（社名）、除外：－社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期1Q	48,132,000株	2025年9月期	48,132,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年9月期1Q	674,706株	2025年9月期	674,706株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期1Q	47,457,294株	2025年9月期1Q	47,457,294株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
（1）四半期連結貸借対照表	4
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
（継続企業の前提に関する注記）	8
（表示方法の変更に関する注記）	8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）	9
（セグメント情報等の注記）	10
（重要な後発事象）	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している状況となっております。

当社グループを取り巻く環境におきましては、超高齢社会の到来に伴い介護費、介護保険サービス利用者数及びサービス提供事業者数は増加し、介護事業全体の底上げが続いております。2024年度の介護保険制度改正では、医療・介護をつなぐ地域包括ケアシステムの更なる深化・推進やLIFEを活用した科学的介護に加え、リハビリテーション・機能訓練、口腔、栄養の一体的取組等による自立支援・重度化防止など、医療・介護の連携と介護事業の効率化がより一層求められる一方で、介護職員の処遇改善や生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり（医療DX、介護DXに関わる加算）など、介護事業の持続可能性もあわせて求められる改正となっております。

このような状況のもと、当社グループは、医療・介護をつなぐ地域包括ケアを実現するシステムを提供していることから、各省庁との共同プロジェクトに参加し、国の政策と同じ方向性をもつシステム開発会社となるよう努めるとともに、介護保険制度改正に対応する準備を整え、継続して適時にシステム改修を行い、システム利用者の負担軽減により、ユーザーの利便性の向上を図っております。総務省の「IoTサービス創出支援事業」の実証実験を通じて「カナミッククラウドサービス」を基軸とした介護における各種データの活用連携を進めるとともに、「東京都多職種連携ポータルサイト」を通じて、従来の市区町村に比べてより広範囲な都道府県単位での在宅療養推進体制に寄与するなど、当社グループの「カナミッククラウドサービス」で培った医療・介護連携のノウハウが地域の医療・介護連携に貢献しております。それらの高齢者支援事業とあわせ、多世代包括ケアの実現に向けた取組として「子育て支援システム」を通じて自治体の子育て支援事業の効率運用に寄与しております。

さらに、当社グループのシステムがプラットフォーム化に対応していくに伴い、取得される患者・要介護者等の情報をビッグデータとして解析し、国や自治体、保険会社等が必要としているエビデンスを見つけ出すAIサービス等の展開を通じて医療・介護分野における地域連携をさらに推進させ、患者・要介護者、全ての医療・介護事業者にソリューションを提供するための研究活動も実施しております。当社グループの成長戦略「Kanamic vision2035」では、既存事業のオーガニック成長投資、戦略的M&A、株主還元のバランスをとりながら、世界の医療・介護DXをリードする真のグローバル企業になるべく、各種施策を実行しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高1,478,608千円（前年同期比169,219千円、12.9%増）、営業利益460,307千円（前年同期比94,955千円、25.9%増）、経常利益462,543千円（前年同期比95,530千円、26.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益305,588千円（前年同期比69,737千円、29.5%増）となりました。

セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

(医療・介護クラウドプラットフォーム事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i カナミッククラウドサービス

本サービスにつきましてはストックビジネスをメインとしており、既存顧客のストック部分をベースに、継続的な新規顧客の獲得を続けた結果、売上高は799,925千円（前年同期比42,361千円増、5.6%増）となりました。

ii プラットフォームサービス

本サービスにつきましては、大手介護事業者からの依頼によるホームページ構築業務や公益財団法人介護労働安定センターを通じた介護事業社向けホームページの受託制作、運営・管理が安定した収益基盤となっており、また介護関連情報を提供するインターネット広告サービスや介護業界における人材マッチングサービスなどが好調に推移した結果、売上高は129,849千円（前年同期比16,767千円増、14.8%増）となりました。

iii その他サービス

本サービスにつきましては、大口顧客向けカスタマイズ開発の受託などにより、売上高は29,072千円（前年同期比11,673千円減、28.6%減）となりました。

これらの結果セグメント売上高は958,848千円（前年同期比47,455千円増、5.2%増）、セグメント利益は424,653千円（前年同期比49,114千円増、13.0%増）となりました。

(健康寿命延伸事業)

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i 健康寿命延伸サービス

本サービスにつきましては、24時間営業のフィットネスジムの運営・フランチャイズ展開、及びそ

れらリアル店舗を通じた健康寿命延伸に資するサービスの提供をしており、直営店およびフランチャイズの既存店舗の利用者が順調に増加した影響により、売上高は313,584千円（前年同期比34,441千円増、12.3%増）となりました。

当セグメントは上記の1サービスのみであり、セグメントの売上高は健康寿命延伸サービスの売上高と同額となります。また、店舗運営のDX化など店舗運営費の削減に努めた結果、セグメント利益は52,622千円（前年同期比18,511千円増、54.2%増）となりました。

（ソリューション開発事業）

当セグメントのサービスごとの売上高は次のとおりであります。

i ソリューションサービス

本サービスにつきましては、Ruby言語を用いたWebサービス企画・開発に関するサービスに加え、THE WORLD MANAGEMENT PTE LTDの販売管理や在庫管理、会計管理などのバックエンドシステムの導入コンサルティングとメンテナンスサービスを提供しております。同サービスが堅調に推移する一方、当社グループ内でのエンジニア配置を見直した結果、売上高は206,175千円（前年同期比87,321千円増、73.5%増）となりました。

当セグメントは上記の1サービスのみであり、ソリューションサービスの売上高から売上原価や販売費及び一般管理費を差引いたセグメント利益は14,808千円（前年同期比6,225千円増、72.5%増）となりました。

（利益の概況）

各セグメントにおける売上高が増加したことにもない、売上原価も前年同期に比べ9,526千円増加し、496,910千円となりました。この結果、売上総利益は981,697千円（前年同期比159,692千円増、19.4%増）となりました。また、前年はTHE WORLD MANAGEMENT PTE LTDは貸借対照表のみ連結対象となっていたことにより、販売費及び一般管理費が前年同期に比べ64,736千円増加し、521,389千円となりました。この結果、営業利益は460,307千円（前年同期比94,955千円増、25.9%増）となりました。

営業外収益は、前年同期に比べ647千円増加し4,009千円となり、営業外費用は、前年同期に比べ73千円増加し、1,773千円となりました。この結果、経常利益は462,543千円（前年同期比95,530千円増、26.0%増）となりました。

これらの結果、税金等調整前四半期純利益は462,543千円（前年同期比95,530千円増、26.0%増）、法人税等合計が前年同期に比べ25,792千円増加し、156,955千円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は305,588千円（前年同期比69,737千円増、29.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ281,429千円減少し、6,260,807千円となりました。これは主に、法人税及び配当金の支払により現金及び預金が284,546千円減少したことによるものです。当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ268,114千円減少し、1,624,818千円となりました。これは主に、支払により未払法人税等160,135千円、当第1四半期連結累計期間に属する収益を認識したことにより契約負債81,307千円がそれぞれ減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ13,315千円減少し、4,635,989千円となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益により305,588千円増加する一方で、配当金の支払により減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月13日に公表いたしました2026年9月期連結業績予想については、現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,327,111	3,042,565
売掛金	212,489	205,723
契約資産	2,248	—
商品	763	845
仕掛品	11,334	39,828
貯蔵品	332	2,990
前払費用	88,223	59,271
その他	120,374	120,397
貸倒引当金	△6,464	△6,564
流動資産合計	3,756,413	3,465,059
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	670,666	672,001
車両運搬具（純額）	4,697	4,303
工具、器具及び備品（純額）	248,005	239,807
リース資産（純額）	73,242	71,099
有形固定資産合計	996,612	987,211
無形固定資産		
ソフトウェア	568,126	559,533
ソフトウェア仮勘定	95,434	121,788
のれん	793,637	790,647
その他	76	76
無形固定資産合計	1,457,274	1,472,046
投資その他の資産		
繰延税金資産	63,284	48,907
敷金及び保証金	217,789	236,945
その他	51,307	51,587
貸倒引当金	△445	△949
投資その他の資産合計	331,937	336,490
固定資産合計	2,785,824	2,795,748
資産合計	6,542,237	6,260,807

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,400	44,349
1年内償還予定の社債	15,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	274,428	274,428
リース債務	15,039	15,059
未払金	119,549	142,864
未払費用	85,939	97,389
未払法人税等	309,353	149,218
未払消費税等	78,263	98,005
契約負債	290,087	208,780
賞与引当金	64,912	34,689
資産除去債務	16,000	16,000
その他	55,021	68,894
流動負債合計	1,359,996	1,159,678
固定負債		
長期借入金	306,009	238,605
リース債務	47,201	43,459
繰延税金負債	76,431	77,008
資産除去債務	102,495	105,267
その他	800	800
固定負債合計	532,937	465,140
負債合計	1,892,933	1,624,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,060	192,060
資本剰余金	132,060	132,060
利益剰余金	4,709,726	4,659,384
自己株式	△404,938	△404,938
株主資本合計	4,628,907	4,578,566
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	20,396	57,422
その他の包括利益累計額合計	20,396	57,422
純資産合計	4,649,304	4,635,989
負債純資産合計	6,542,237	6,260,807

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
売上高	1,309,388	1,478,608
売上原価	487,384	496,910
売上総利益	822,004	981,697
販売費及び一般管理費	456,652	521,389
営業利益	365,351	460,307
営業外収益		
受取利息	124	74
物品売却益	513	—
受取手数料	2,318	2,356
その他	404	1,578
営業外収益合計	3,361	4,009
営業外費用		
支払利息	1,487	1,369
為替差損	211	401
その他	1	2
営業外費用合計	1,700	1,773
経常利益	367,013	462,543
税金等調整前四半期純利益	367,013	462,543
法人税、住民税及び事業税	109,242	142,001
法人税等調整額	21,920	14,953
法人税等合計	131,162	156,955
四半期純利益	235,850	305,588
親会社株主に帰属する四半期純利益	235,850	305,588

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	235,850	305,588
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	2,562	37,026
その他の包括利益合計	2,562	37,026
四半期包括利益	238,413	342,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	238,413	342,614
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「流動資産」の「1年内回収予定の長期貸付金」、「投資その他の資産」の「出資金」、「長期貸付金」、「破産更生債権等」、「長期前払費用」、「保険積立金」および「流動負債」の「預り金」は、金額的重要性が乏しいため、当連結会計年度においてそれぞれの「その他」に含めて表示しております。これらの表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「1年内回収予定の長期貸付金」1,249千円、「投資その他の資産」の「出資金」500千円、「長期貸付金」23,549千円、「破産更生債権等」445千円、「長期前払費用」4,955千円、「保険積立金」21,858千円および「流動負債」の「預り金」23,086千円は、それぞれの「その他」として組み替えております。

また、前連結会計年度において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」に含めておりました「ソフトウェア仮勘定」は、表示の明瞭性を高める観点から、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「無形固定資産」の「ソフトウェア」663,560千円は「ソフトウェア」568,126千円および「ソフトウェア仮勘定」95,434千円として組み替えております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年10月1日 至 2024年12月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年10月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	80,153千円	81,970千円
のれんの償却額	13,741千円	24,311千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年10月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護クラ ウドプラットフォーム事業	健康寿命延伸 事業	ソリューション 開発事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	911,392	279,142	118,853	1,309,388	—	1,309,388
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,339	—	5,995	8,334	△8,334	—
計	913,731	279,142	124,848	1,317,723	△8,334	1,309,388
セグメント利益 又は損失(△)	375,538	34,111	8,583	418,232	△52,881	365,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△52,881千円にはセグメント間取引消去6,069千円、のれんの償却額△13,741千円、各報告セグメントに配分していない当社の損益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年10月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書 計上額 (注) 2
	医療・介護クラ ウドプラットフォーム事業	健康寿命延伸 事業	ソリューション 開発事業			
売上高						
外部顧客への 売上高	958,848	313,584	206,175	1,478,608	—	1,478,608
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,359	—	36,370	38,730	△38,730	—
計	961,207	313,584	242,545	1,517,338	△38,730	1,478,608
セグメント利益 又は損失(△)	424,653	52,622	14,808	492,083	△31,776	460,307

(注) 1. セグメント利益の調整額△31,776千円にはセグメント間取引消去△7,464千円、のれんの償却額△24,311千円、各報告セグメントに配分していない当社の損益が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。